

〔2024年度〕

繊維製品品質管理士試験

〔Ⅲ〕家庭用繊維製品の流通、消費と  
消費者問題に関する知識

◆注意◆

1. 問題は開始の合図があるまで開かないでください。
2. 開始とともに、解答用紙に氏名と、受験番号(4ケタ)を記入し、その下の受験番号の数字をマークしてください。
3. 解答用紙は、書き損じても再交付しません。
4. 印刷が不鮮明な場合は申し出てください。ただし、問題に関する質問は一切受け付けません。
5. 解答を書き終えても、また、試験放棄しても試験が終わるまで退室できません。  
トイレに行きたくなった場合、あるいは気分が悪くなった場合は、手をあげて監督者に申し出てください。
6. 試験開始後は、参考書籍やテキストなどの使用を禁止します。また、携帯電話や時計型端末など電子機器類の使用も一切禁止します。使用が発覚した場合には、厳正に対処します。
7. 試験終了後は、指示があるまで着席のまま待機してください。
8. 試験中、顔写真と照合のため監督者が回ってきたときには、マスクや帽子などを着用されている場合は外して、顔をあげてください。
9. 試験会場内は禁煙です。

問1 次のA～Jの記述の下線部分について、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. ①商品の評価のうち、個人の感情を入れずに商品の属性を考慮する評価方法を「客観的評価方法」という。  
②商品の評価のうち、過去の経験や思い込みが先に立つ評価方法を「主観的評価方法」という。
- B. ①商品選択にあたり、消費者が商品に抱く関心の度合いを「欲求」という。  
②属する多くの集団の中で、最も影響を受ける集団を「準拠集団」という。
- C. ①消費性向は、「非消費支出」を「可処分所得」で割り、100を掛けて算出される。  
②可処分所得は、「消費支出」と「税金」に分かれる。
- D. ①商取引を目的とした財貨に「サービス」は含まれる。  
②衣料品のクリーニングや補修・リフォームは商品としての「サービス」に含まれる。
- E. ①電話調査法は配票調査法に比べて多くの質問に回答してもらう場合に適している。  
②電話調査法は配票調査法に比べて短時間に回答を集めることが可能である。
- F. ①「洗濯等取扱い表示の認識度」を聴取する調査は、事実調査である。  
②「特定ブランドのイメージ」を聴取する調査は、知識調査である。
- G. ①無作為抽出法では標本誤差を推定することが可能である。  
②無作為抽出法では有意抽出法に比べて調査結果に偏りが出やすい。
- H. ①中央値は、調査データの中心的傾向を把握する統計量である。  
②偏差平方和は、調査データのばらつきを把握するのに用いられる。
- I. ①郵送調査法は、集合調査法と比べて回収率が高い。  
②記送調査法は、集合調査法と比べて回収率が高い。
- J. ①文章の一部を示して、その言語から連想する言葉を自由に記述する方法を自由回答法という。  
②無作為に並べた一群の項目から、一定の基準に合う項目を選択して答える方法を摘出法という。

**問2 次の記述内A～Gの（ ）内に、各々の語群の中から最も適当なものを選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

- I. 流行の商品についてマーケットの評価が定まったところに購入する人を（ A ）という。  
（1. イノベーター 2. オピニオンリーダー 3. フォロアー）
- II. アメリカの消費者のライフスタイルを分類する VALS 尺度は（ B ）調査研究所が開発した。  
（1. ハーバード 2. スタンフォード 3. ペンシルベニア）
- III. 調査対象者に対して、言語、絵画、写真などの刺激を与えて、その刺激に対する反応を分析して、間接的に意識内容を探り出す方法を（ C ）という。  
（1. 深層面接法 2. 投影法 3. 観察法）
- IV. 2つの調査対象のデータ間における関連性を調べる際に使う統計量を（ D ）という。  
（1. 相関係数 2. ヒストグラム 3. 分散）
- V. 調査の精度に関して、（ E ）を小さくするためには標本数を大きくすればよい。  
（1. 系統誤差 2. 過失誤差 3. 標本誤差）
- VI. 調査データを分析する際に使う（ F ）は、データのばらつき（散布度）を示す統計量である。  
（1. 標準偏差 2. 最頻値 3. ヒストグラム）
- VII. （ G ）とは、母集団に含まれるそれぞれの単位の選ばれる確率が相等しくなるように工夫された抽出法である。  
（1. 無作為抽出法 2. 有意抽出法 3. 数値分配法）

**問3 次の記述内A～Hの（ ）内に、各々の語群の中から最も適当なものを選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

- I. 消費者行動の要因のうち（ A ）は他人や集団から受ける影響をいう。また、属する社会及び個人の経済的な状態の影響を受ける消費者行動は（ B ）であり、個人の脳内において処理されるプロセスは（ C ）である。

[語群]

1. 心理的要因 2. 個人的要因 3. 経済的要因 4. 排他的要因 5. 社会的要因  
6. 自律的要因

- II. 精度の高い調査とは、調査結果の（ D ）が小さいことをいう。また、正確度の高い調査とは調査結果から得られた回答の（ E ）が、その実態と食い違っていないこと、また（ F ）が小さいことをいう。

[語群]

1. 偏り 2. 平均値 3. 最大値 4. 再現性 5. 妥当性 6. ばらつき

- III. 標本抽出をする方法のひとつであるクォータ抽出法は（ G ）とも呼ばれており、性別、年代、居住地など、いくつかの基本属性について、母集団の構成比率に（ H ）の構成比率を合わせて抽出する方法である。

[語群]

1. 割り当て抽出法 2. 確立比例抽出法 3. 層別抽出法 4. 標本 5. 準拠集団

**問4 次のA～Fの記述に最も関係が深いものを下記の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

- A. 経済の高度成長に伴い、消費者問題が大きな社会問題としてクローズアップされ、消費者団体の積極的な活動に行政が対応するかたちで1968年に制定された法律
- B. 資金を出し合って生活必需品の共同購入を始めるために組織された英国の組合が発端で、現在、日本最大の消費者組織として、政策提言なども行っている。
- C. 1962年にケネディ大統領が発表し、日本でも消費者政策推進にあたっての「基本理念」として示されている「安全を求める権利」「知らされる権利」「選ぶ権利」などの権利
- D. 製品の欠陥によって生命、身体または財産に損害を被った場合には、被害者は製造業者などに対して損害を求めることを定めている法律
- E. 国際標準化機構の略称であり、同機構が策定する国際的な標準化規格の総称としても使われる。
- F. 繊維製品の表示にかかわる法律のうち、表示規制や表示ルールに従って適切に表示しなければならない法律

[語群]

1. 「不当景品類及び不当表示防止法」 2. ISO 3. 「消費生活用製品安全法」  
4. 消費者の権利 5. 「消費者保護基本法」 6. 労働組合 7. 「製造物責任法」  
8. 「消費者契約法」 9. 販売者の権利 10. 「家庭用品品質表示法」 11. ASTM  
12. 日本生活協同組合連合会

**問5 次の記述内A～Jの（ ）内に、各々の語群の中から最も適当なものを選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

I. 2023年3月（ A ）の規定に基づく内閣府告示によって、ステルスマーケティングに関する不当表示が「内閣総理大臣が指定する不当表示」に追加された。内閣総理大臣が指定する指定告示には他に（ B ）や商品の原産国に関する不当表示がある。

[語群]

1. 「景品表示法」
2. 「特定商取引法」
3. 「不正競争防止法」
4. 二重価格に関する不当表示
5. おとり広告に関する表示

II. 「資源の有効な利用の促進に関する法律」に基づく「（ C ）の識別表示」は、事業者に対して（ D ）を求めるとともに、消費者および市町村の（ E ）排出・回収を容易にすることを目的としている。

[語群]

1. 省エネ化
2. 自主
3. 分別
4. 繊維製品
5. 再商品化
6. 雑貨品
7. 容器包装

III. 「消費者契約法」は、消費者が（ F ）との間で行うさまざまな商品、サービス、権利の契約について適用対象とし、消費者からの契約の解放を認める制度としては、（ G ）制度が知られている。

[語群]

1. 事業者
2. サブスクリプション
3. クリーン
4. クーリング・オフ
5. 行政

IV. 消費者苦情の社会的意義について、「ジョン・グッドマンの法則※」で、消費者苦情の解決に満足した顧客は苦情を申し立てない顧客より（ H ）が高いこと、苦情処理対応を受けた顧客の（ I ）は（ J ）より2倍も広く伝わるということが明らかにされている。

※ 商標登録：NPO法人顧客ロイヤルティ協会

[語群]

1. 称賛
2. 再購入率
3. SNS拡散
4. 非難
5. 不可分所得

**問6 次のA～Iの記述に最も関係が深いものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

A. 「資源の有効な利用の促進に関する法律」において、分別回収の促進のため識別表示の義務対象である容器包装の材質

1. 木材
2. ゴム
3. プラスチック

- B. 2017年の「家庭用品品質表示法」の施行規則改正により指定用語に追加されたもので、2種類以上の原料を、貼り合わせ構造や芯・鞣構造にして製造した繊維の名称  
(1. 複合繊維 2. 半合成繊維 3. 混合繊維)
- C. 消費者問題を防ぐために重要とされる消費者主権の概念  
(1. 消費者の地位が優位であること 2. 事業者の地位が優位であること  
3. 消費者と事業者の地位が対等であること)
- D. ホルムアルデヒドや特定芳香族アミンなどの「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」を所管する省庁  
(1. 環境省 2. 経済産業省 3. 厚生労働省)
- E. 容器包装に識別表示を行う目的として、正しいもの  
(1. 焼却による地球温暖化 2. 自然保護のための生分解  
3. リサイクルによる再商品化)
- F. 「繊維製品品質表示規程」の繊維組成表示の方法として正しくないもの  
(1. 靴下に「綿 ナイロン アクリル」と列記表示  
2. ポリエステル糸で刺繍をした綿のTシャツ (全体混用率では綿96% / ポリエステル4%) に「コットン100%」と表示  
3. ウール100%のセータに「羊100%」と表示
- G. 「医薬品医療機器等法」にかかわる表示として、正しいもの  
(1. 着用テストによるデータをもとに、靴下に「新陳代謝を活発にする」と表示  
2. 肌着に「カフェイン加工繊維使用」と表示  
3. 部位による圧迫度を変えたストッキングに「エコノミークラス症候群を予防」と表示)
- H. 実際のカシミア混用率が80%のものに、カシミア100%表示をした場合、不当表示として措置命令を受ける可能性のある根拠  
(1. 優良誤認 2. 有利誤認 3. 優位表示)
- I. 「家庭用品品質表示法」で、付記が義務付けられている事項  
(1. 繊維製品品質表示者番号 2. 表示者の住所または電話番号  
3. 製造所固有記号)

問7 次のA～Iの記述の下線部分について、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. ①消化取引制とは、売り場で商品が売れたとき、売上傳票と仕入伝票を同時に作成する方式である。  
②返品条件付き買取制は百貨店に多い商慣行であり、商品の所有権はアパレル企業にある。
- B. ①参考上代・掛け率制は、完全買取り同様、生産企業と小売企業との取引におけるグローバルスタンダードである。  
②オープンマーケットは、アパレル企業が小売企業と取引きする場合の日本独自の商慣行といわれている。
- C. ①SPAは、自社オリジナルのアパレル製品を自らのリスクで生産し、価格決定権をもつ企業である。  
②日本では、2010年代に、海外ラグジュアリーブランドの日本法人が増えた。
- D. ①海外の生産企業に資本や技術を供与し、高水準商品の生産を可能にしたうえで、生産を委託するものを開発輸入という。  
②保税加工ができる設置場所として指定されている区域を保税加工区といい、発展途上国にみられる。
- E. ①オムニチャネルとは、実店舗とインターネット通販の境界をなくし、相互乗り入れするビジネスモデルをいう。  
②OtoOとは、一般消費者である個人と個人の間で行う取引のことをいう。
- F. ①明治初期、輸出により外貨を稼いだのは綿糸・綿織物であった。  
②経済産業省の工業統計表において、1965年と2016年を比較すると、繊維産業の出荷・販売額シェアについて、卸売業は約30%の増加となっている。
- G. ①1970年代は、合成繊維の価格低下と機能性の向上によって、合成繊維の需要が急増し、繊維製品全体の内需に対し、数量シェアが30%まで上昇した（繊維需給表：経済産業省）。  
②第二次世界大戦後、綿製品の不足は、国産原料でできるレーヨン（スフ）で補われた。
- H. ①ピーコック革命とは、合繊企業が実施したカラーシャツキャンペーンを指すが、主に女性を対象とした。  
②1980年代になると、ファッションにおける若者の台頭が見られるようになり、初めてミニスカートブームが起こった。

- I. ①アパレルメーカーと百貨店は、商品供給と販路の関係性において長い間、相互依存の関係にあった。
- ②百貨店の販売において、アパレルメーカーから派遣される販売員が情報収集の役割も担っている。

**問8 次の記述内 [A] ~ [H] の後ろの ( ) 内に示す語句の中から最も適当なものを選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

- I. 海外の生産企業、流通市場、メッセ（見本市）などを回ったり、来日企業の持参サンプルを見たりして商品をセレクトし、輸入する方法を [A]（1. 間接輸入方式 2. 輸入総代理店方式 3. 買付け方式）という。
- II. 小売企業が買取り仕入れ、あるいは委託生産した商品の在庫処分店を [B]（1. ファクトリーアウトレット 2. リテールアウトレット 3. ホールセールアウトレット）という。
- III. テキスタイルメーカーとアパレルメーカーとの間に入る生地問屋の中で、服地卸業を専門とする業種を一般的に [C]（1. テキスタイルコンバーター 2. テキスタイルコーディネーター 3. テキスタイルディレクター）という。
- IV. 特定のブランド・商品・提供方法・サービスなどを開発した本部企業に対して、ロイヤリティーを支払うチェーンシステムを一般的に [D]（1. フランチャイズチェーン 2. ボランタリーチェーン 3. 直営チェーン）という。
- V. 複数のブランドの新しい商品を初めから定価より安く販売する店舗のことを [E]（1. カテゴリーキラー 2. オフプライスストア 3. ハイパーマーケット）といい、アメリカでは小売業のカテゴリーとして定着している。
- VI. 1950年代後半には [F]（1. 抗菌・防臭 2. UV カット 3. ウォッシュ・アンド・ウェア）のキャッチフレーズで提供された、ポリエステル製品の需要が急増した。
- VII. 総務省の家計調査によれば、1973～2019年における被服・履物支出の年平均伸び率が最も落ち込んだのは、名目・実質共に、[G]（1. オイルショック 2. バブル崩壊 3. リーマンショック）の時である。
- VIII. 1987年を境に、それまで輸入品としてシェアの高かった韓国や台湾が、為替高、原料費高、[H]（1. 業績高 2. 賃金高 3. 投資高）と呼ばれる三高現象によって、急速に競争力を失い、中国やASEANに取って代わられた。



**問9 次の記述内A～Hの（ ）内に、各々の語群の中から最も適当なものを選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

I. 1960年代後半から1970年代前半にかけて、繊維産業の中心は（ A ）へと移り、日本のパレル産業は、（ B ）年代を境に、（ C ）から内需産業に大きく変化した。

[語群]

1. 輸入産業    2. 輸出産業    3. 繊維二次製品産業    4. 繊維一次製品産業  
5. 1970    6. 1990

II. ファッションマーケットの全体の規模は、一人当たりの衣料品の購買力×（ D ）で示される。日本の高齢化率は世界屈指であり、そのスピードは速く欧米先進国の（ E ）とされている。

[語群]

1. 世帯数    2. 人口    3. 8～10倍    4. 2～4倍    5. 消費量

III. 1980年代までは日本の（ F ）、量販店などが海外での店舗展開を活発に進めていたが、（ G ）年代に入って後退の様相をみせている。一方、海外に進出し大きな成果を上げている（ H ）もある。

[語群]

1. SPA    2. 百貨店    3. セレクトショップ    4. ラグジュアリーショップ  
5. 1990    6. 2010

**問10 次の記述内[A]～[H]の後ろの（ ）内に示す語句の中から最も適当なものを選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**





I. 洗濯時の機械力を測定する方法のための、市販の機械力測定試験布としては、[A]（1. アメリカ    2. フランス    3. デンマーク）の技術研究機関で開発された[B]（1. MA    2. MC    3. MD）試験布が一般的である。

II. 衣料品の消費過程において布が変退色する原因には、洗濯用水中の[C]（1. 塩分    2. 鉄分    3. ミネラル）による[D]（1. 黄変    2. 緑変    3. 褐変）も考えられる。

III. JIS L 0001では、[E]（1. ドライクリーニング    2. ウォータークリーニング    3. ウェットクリーニング）を「特殊な技術を用いた業者による繊維製品の水洗い処理」としている。

- IV. 現在、海洋生態系に対する [F] (1. バーチャルウォーター 2. マイクロプラスチック 3. マイクロバブル) の影響が懸念されている。
- V. 適正な洗濯条件であっても汚れの沈着により白度は低下する。その防止のための糊剤として [G] (1. カルボキシメチルセルロース (CMC) 2. セルラーゼ 3. ビルダー) がある。
- VI. 成人男子の体型区分は、チェストと [H] (1. バスト 2. ウエスト 3. ヒップ) の差のドロップで表される。

問 11 次のA～Hの記述の下線部分について、①②の両方が正しい場合には『1』、①②のいずれかが誤っている場合には『2』、①②の両方が誤っている場合には『3』を解答記入欄にマークしなさい。

- A. ①循環型社会を形成するための法体系のひとつに「消費者基本法」がある。  
②「廃棄物処理法」も循環型社会を形成するための法体系のひとつである。
- B. ①冷房の省エネに寄与するために、軽装の服装を呼びかけたものが「クールビズ」である。  
②冬場の暖房を低め (20℃) に設定することを呼びかけたものが「ホットビズ」である。
- C. ①「繊維製品品質表示規程」の表示事項には、「はっ水性」がある。  
②詰物を使用している裏生地が付いた上衣の繊維の組成は、表生地、裏生地及び詰物を表示する。
- D. ①JIS L 0001 洗濯処理の記号 110  では、液温は 40℃を限度とする手洗いによる洗濯処理を表す。  
②JIS L 0001 乾燥処理の記号 425  は、日陰の濡れ平干し乾燥を表す。
- E. ①JIS L 0001 漂白処理の記号 210  では、塩素系漂白剤による漂白処理が可能である。  
②JIS L 0001 アイロン仕上げ処理の記号 520  では、底面温度 200℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。
- F. ①衣類の洗濯用界面活性剤の1つとして、ゼオライトがある。  
②家庭用の柔軟仕上げ剤の主成分は、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩 (LAS) である。
- G. ①石けんは、主たる洗浄作用が純石けん分によるものと規定されている。  
②石けんは、水道水中の塩素イオンと結合し、黄ばみの原因となる。

- H. ①繊維製品の組成表示では、ポリ乳酸繊維の指定用語はポリ乳酸である。  
②指定用語では羽毛の場合、ダウンとフェザーを区別して表記する必要がある。

**問 12 次のA～Iの記述に最も関係が深いものを各々の語群の中から選び、解答記入欄の数字をマークしなさい。**

- A. 衣料品の着用または取扱いの過程で、その商品の耐久性、機能性などの消費性能が、個人の生活の中で満足できないときに発生する。  
(1. 消費者苦情 2. 消費者動向 3. 消費者広報)
- B. 分散染料で染色したアセテート染色物に、変退色を生じさせやすい汚染大気ガス  
(1. フロンガス 2. 酸化窒素ガス 3. メタンガス)
- C. JIS L 4004 成人男子用衣料のサイズに規定されている、衣料品の出来上がり寸法を示す特定衣料寸法  
(1. 身幅 2. 足長 3. また下丈)
- D. 洗剤に使用される酵素のうち、襟垢に含まれる皮脂や、食物汚れなどに含まれる脂質中のトリグリセリドを加水分解する作用がある酵素  
(1. プロテアーゼ 2. リパーゼ 3. アミラーゼ)
- E. 「繊維製品品質表示規程」が定める家庭洗濯等取扱方法の表示対象品目  
(1. マフラー 2. ハンカチ 3. タオル及び手拭い)
- F. 綿 100%表示の場合、「繊維製品品質表示規程」に定められている混用率の許容範囲  
(1. -1% 2. -3% 3. -5%)
- G. ある場所で排出された温室効果ガスを、他の場所で植林、森林保護、クリーンエネルギー事業によって直接的、間接的に吸収し、埋め合わせようとする考え方  
(1. カーボンフットプリント 2. カーボンニュートラル 3. カーボンオフセット)
- H. 国が率先して再生品などの調達を推進するために制定された法律  
(1. 「消費生活用製品安全法」 2. 「グリーン購入法」 3. 「製造物責任法」)
- I. 繊維製品の化学物質の管理や生産背景に関するヨーロッパにおける認証制度  
(1. ISO 9001 2. REACH 3. エコテックス)

